

看板を作ったり、山道の入り口の所にポスタ
ーを貼ったりして、自分たちにもできること
をしていきたいです。
二つ目も、小杉谷集落での、「住み続けら
れるまちづくりを」についてです。山道の途
中で、橋を修理している人たちを見かけまし
た。この人たちが修理してくれなければ、台
風や地震などで、橋が壊れてしまい、この歴
史の残る集落を見ることができなくなってい
まいます。昔だけでなく、現代の技術もあつ
て、歴史が支えられているんだなと感じまし
た。
三つ目は、歴史民俗資料館での、「つくる
責任」つかう責任」です。入口の近くに、屋
久島に埋まっていた土器が展示されているの
ですが、その中に、壊れた土器が紐でつなが
れているものがありました。最初見たとき
は、バラバラになって見つかった土器を、修
復したのかなと思っていました。ですが、そ
の土器の近くにある、説明が書いている紙を

見てみると、「補修孔」と書いてありまし
た。補修孔とは、紐で二つの穴を結束し、割
れ目をつないだり、ひび割れが拡大しないよ
うにしたものだそうです。壊れた土器は捨て
るのではなく、紐でつなげて修復し、もう一
度使うという、SDGsの考え方（リユース）
が昔の人にもあったことに驚きました。
昔の人も、環境に配慮して暮らしていて、と
てもすごいと感じました。
四つ目も、歴史民俗資料館での、「海の豊
かさを守ろう」です。屋久島には、恵比須様
が祀られています。恵比須様は、漁業の神様
としても信仰されているので、漁業が盛んな
屋久島では、とてもあがめられています。そ
んな屋久島は今、海や砂浜にゴミがたくさん
落ちています。ウミガメがビニール袋をクラ
グと間違えて食べてしまったり、美しい海と
砂浜が汚れてしまったりしています。そんな
屋久島を救うためにも、ビーチクリーンをし
たり、ゴミはごみ箱に捨てたり、そもそも

